
No Way

J P S

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

No Way

【Nコード】

N1289E

【作者名】

JPS

【あらすじ】

泣くなよ。悲しいよ。どうしたんだよ。君には何も無いのね。違う。欲しかった。埋めて欲しかっただけ。ただ、寂しかったんだ…

G a m e (前書き)

下手くそですが、頑張って書いてみようと思います。

Game

所詮、恋愛なんてゲームと同じ。駆け引きが上手くいけば優位に立てる。

ちよつとしたコツさえ掴めば簡単なものだ。

愛だの何だのなんて戯れ言にしか聞こえない。
バカバカしい。

――ねえ

「……」

「ねえつてば！！聞いてる？」

「ん……ああ、悪い。ぼーっとしてた」

「だからあ、今度何処かに連れてってよって何回も言ってるじゃん」

ウザいな。

何処にでもあるような喫茶店の店内。運ばれてきたアイスティが汗ばみ、グラスに滴が垂れる。

「ああ、その内」

「またそうやってはぐらかすしい。こんなの続いたら別れちゃうよ」

分かってんじゃん。

もういい飽きた。適当にまくか？

そう思いながら不意に席を立つと飲みかけのグラスから氷の崩れる音がした。

「――帰る」

「え？」

「聞こえなかったか？帰るって言ったんだよ」

「だ、だってさっき来たばかりじゃん？」

彼女も男の袖口を掴み、立ち上がる。

しかし、強引に振りほどかれると男からうんざりといったような小さなため息が聞こえた。

「ウザッ」

「えっ？」

「さよーなら。それなりに楽しかったよ」

その場に崩れ落ちる彼女を尻目に振り返ることもなく店を出ていく。

――薄い笑みを浮かべて。

「どーだったよ？」

「見てわからないか」

店を出てすぐ声をかけてきた男。いかにも今風な衣服に身を包み、何かを期待しているような瞳で男…隼人を見つめる。

ガラス貼りされた店の向こうでは今も泣きじゃくる女の姿が見えた。

「まじか…宣言どおりじゃねーか」

「約束、わかってるよな？しっかりと――」

「わかってるって。あとで皆から徴収しとくからよ」

- - -ゲーム

隼人達はそう総称して遊んでいた。女に目をつけ、どのくらいの期間で落とせるか。その期間が短ければ短い程、掛け金が高くなるといふ遊び。

そう、遊び。

遊びなんだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1289e/>

No Way

2011年1月26日05時13分発行